

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	582	環境保全対策事業	会計	01	一般会計
基本施策	26	環境問題などに協働して取り組む	款	04	衛生費
			項	01	保健衛生費
			目	04	環境対策費
担当部課名	生活環境部環境政策課			細目	101 環境保全対策事業
作成者氏名	松本直明	連絡先	22-9637	細々目	01 環境保全対策事業

事業の計画・内容

事業の目的	市内の環境	市民、事業所、行政が協働して不法投棄の防止、啓発活動に取り組むことや市民団体の育成・支援を継続して実施することにより市内の環境保全が維持される。			
本年度事業内容	1 不法投棄物の処理、全国ごみ不法投棄監視ウィークなどの啓発活動 2 伊賀市環境保全負担金条例に伴う事務、産業廃棄物処理施設及び産業廃棄物の不法投棄現場の立ち入り調査、県との調整 3 一般廃棄物関係の調査 4 市民活動団体の支援業務(伊賀市環境保全市民会議の事務局) 5 環境啓発活動(市民フェスタ秋の開催) 6 環境基本計画策定業務				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市環境負担金条例、伊賀市環境基本条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	2.7	2.7	2.7
人件費合計(A)	19,440	19,440	19,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	49,353	53,831	50,390
委託料	2,593	4,100	1,000
補助金	713	900	800
積立金	44,501	45,501	45,500
その他	1,546	3,330	3,090
合計(A+B)	68,793	73,271	69,830
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財	46,100	51,477	50,000
一般財源	22,693	21,794	19,830
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
環境基本計画策定に伴う環境審議会の開催	回	3	5				
市民フェスタ秋の開催	回	1	1	1			
市民活動支援(財政・事務局)団	団体	1	1	1			
区域外一般廃棄物受入市町村等(2施設分)	団体	111	110	110			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
区域外からの一般廃棄物の搬入量	市における環境負荷の軽減を図るための環境施策の財源に当てるために制度化された環境保全負担金を指標と設定する。市内に所在する一般廃棄物処理施設に他の地方公共団体から持ち込まれる一般廃棄物搬入量	t	89,130 目標 ( 8,790 )	91,000	91,000
環境啓発活動(市民フェスタ秋の参加者)	環境啓発活動として取り組んでいる「市民フェスタ秋」の参加者を指標と設定する。	人	3,000 目標 ( )	3,100	3,200

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

区域外からの一般廃棄物の持ち込みに負担金を課す制度は、ほぼ合併と同時に発足した新しい制度であり、事前聴き取りから搬入承認まで、事務的に時間を要する業務である。本年3月からは、事前聴き取り会に地域の自治会長も一緒に出席していたのを取りやめ、事後報告に変更し日程の調整等の簡素化を実施している。
---

評価	必要性	4	環境負担金制度や環境基本計画の策定は環境負担金条例や環境基本条例に基づく事業であり、必要性や有効性はきわめて高い。また、不法投棄の防止対策や環境保全啓発活動は、市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境を守っていき、不安を解消するために必要です。したがって、環境保全対策事業は、継続して取り組みことが大切であり引き続き実施する考えです。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		